

吹田西ロータリークラブ

国際ロータリー第2660地区

ウィークリー 2025-26



創立 1980.6.12
事務所 〒564-0051 吹田市豊津町9番40号 カリーノ江坂1階 TEL06-6338-0832 FAX06-6338-0020
URL <http://www.ssuita-west-rc.org> E-mail src@jasmine.ocn.ne.jp
例会場 新大阪江坂東急REIホテル TEL06-6338-0109 例会日 毎月曜日 18:00~19:00
会長: 榎原 一滋 幹事: 橋本 幸治 クラブ会報委員会: 堀 豊

よいことの
ために
手を取りあおう


4つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

本日の例会	次回の例会
<p>第1991回例会 令和8年1月26日</p> <p>●歌の時間 「乾杯」 長瀬 剛</p> <p>●ゲスト卓話 (村上プログラム委員長ゲスト) 「赤十字活動について」 日本赤十字社大阪府支部 振興課長 高橋 晃子様</p>	<p>第1992回例会 令和8年2月2日</p> <p>●歌の時間 「君が代」 国歌 「奉仕の理想」 ロータリーソング</p> <p>●ゲスト卓話 (西村元秀会員ゲスト) 「だしと出汁」 株式会社神宗 代表取締役社長 小山 鐘平様</p>



職業奉仕の実践です。

本年度、当クラブでは江坂大池小学校での出前授業や、若い世代との交流、大和大学ローターアクトクラブの設立など、職業を通じた学びの共有を進めてきました。これはまさに職業奉仕の精神を地域に広げる取り組みだと感じています。大和大学RACは若い世代が「奉仕」や「地域との関わり」に主体的に関心を持ち、自ら行動を起こしてくれたことは、私たちロータリーにとって何よりの喜びです。RACは単なる若者の集まりではなく、未来の地域社会を担う人材が育つ場であり、ロータリーの理念を次の世代につないでいく大切な存在です。

新年の始まりに、自分の仕事はだれかの役に立っているのかを改めて考え、今年もそれぞれの専門性を生かしたロータリー活動を進めてまいりましょう。本日もよろしくお願いいたします。

新入会員紹介

紙谷直前会長

森田浩嗣 (もりた こうじ) 会員
職業/役職: 株式会社モリタ 代表取締役
会社所在地: 東淀川区西淡路
職種: オーダースーツ (紳士服・婦人服・服飾雑貨販売)
趣味 料理: 野菜づくり

私の弟の友人で25年ほどのお付き合いをしており、過去には御堂筋バレーのボランティアや地域の献血活動にも積極的に参加され、ロータリーの奉仕活動にご興味を持たれ入会の運びとなりました。宜しくお願い致します。

会長挨拶

榎原会長

本日は千里RCの井上暎夫パストガバナーに来ていただいております。本日の卓話、よろしくお願いいたします。吹田RCより淀井様、大枝様、ようこそいらっしゃいました。そして森田浩嗣新会員の入会式がありますので、よろしくお願いいたします。

今月は職業奉仕月間です。職業奉仕はロータリーの五大奉仕の中でも、最も私たち一人ひとりの日常に近い奉仕ではないでしょうか。それは特別な活動を行うことだけではなく、「それぞれの職業を通じて、社会にどう貢献するか」「その仕事は世のため人のためになっているか」を常に問い続ける姿勢そのものだと思います。ロータリーの創始者ポール・ハリスは、異なる職業の仲間が集い互いの仕事を理解し、尊敬しあうことこそが社会を良くすると考えました。私たちが例会で名刺を交換し、仕事の話を交わす時間も、まさに

幹事報告

橋本幸治幹事

米山記念奨学会より感謝状が届いています。

- ☆第9回梶山会員
- ☆第8回石崎会員
- ☆第7回井伊会員
- ☆第6回青木会員、木田会員、坂口会員
- ☆第4回杉本会員、瀬川会員、村井会員
- ☆第3回清水会員
- ☆第2回福原会員
- ☆第1回瀧川健一朗会員

来週の例会終了後理事会を開催いたします。



会員結婚記念日のお祝い

1月

☆阿部会員ご夫妻 昭和62年1月17日

出席報告

出席委員会 江村委員長

- 会員数41名 ●来客4名
- 出席会員数29名
- 1月19日例会の出席率85.30%
- 12月22日の出席率（メーキャップ含む）100%

各委員会・各同好会報告

- 米山記念奨学会委員会 本田委員
本日、永岡会員より特別寄付をいただきました。ご協力ありがとうございました。

ニコニコ箱

坂口副S.A.A.

瀧川健一朗会員、井伊会員、永岡会員、村上会員、木田会員にご協力頂きました。皆様ありがとうございました。

- 前回までの小計 900,600円
- 本日のニコニコ箱 15,000円（5件）
- 累計のニコニコ箱 915,600円
- 本日のニコニコ箱B 0円
- 累計のニコニコ箱B 16,500円

ゲスト卓話 国際ロータリー第2660地区 パストガバナー 井上 暎夫様

私をロータリークラブに導いてくれたのは、青年会議所（JC）です。

J Cの初代と2代目の理事長から、吹田にできる新クラブへの入会を勧められ、「J Cを卒業したらお願いします」と言っていたのですが、ダメと言われロータリアンになりました。J Cの理事長の時、クラブ幹事することとなり、やむなくロータリーを学ぶこととなりました。

最初に学んだことは、ポール・ハリスについてです。祖父母に育てられた彼の境遇、なぜロータリーを作ろうとしたか、

等々。私の境遇にも似ているなどと思いながら、ロータリーを知ることとなり、気が付けば早いもので今年で53年目のロータリー生活です。

ロータリーに入ってガバナーになりたいと思ったこともなく、もちろんなれるとも思っていなかったのですが、地区から我がクラブの近藤ガバナーが指名され、代表幹事就任が先生の引き受け条件となり、以来私は地区での役割が増えることとなりました。

なかなかガバナーを指名できないある年に、地区の諮問委員会から呼び出しがかかり、ガバナー就任を要請され、「とてもできません」と言いましたが、当時パストガバナーの長老だった古田さんから「引き受けなさいよ。のちに良かったと思う時が必ず来るから」と諭され、引き受けました。

最初に「これかな」と思ったことは、ガバナーを終えて2年目、前年に引き続きRI会長代理の指名を受けました。その地区は2630地区（岐阜・三重）、会場が岐阜市の国際会議場。すぐ近くに父が眠る墓地があり、高校まで過ごした出生地です。ロータリーに出身地を伝えたこともなく、地区大会は岐阜県・三重県と交互に開催され、岐阜県の年でも岐阜市とはならないのに、父が呼んでくれたと今でも思っております。

後にこのこと以上に良かったと思うようになったことは、ガバナー年度のRI会長がビチャイ・ラタクルさんだったことです。ビチャイさんから「ロータリーの基本はクラブにあること、RIとの関係はトップダウンではなくボトムアップである」と教えられました。

そして、ガバナーを終えたのちもビチャイさんとの交流が長く続き、私は11回タイを訪問し、その大半はご自宅にも伺いました。

私は先輩たちからの「ロータリーにはNOはないよ」の一言をひたすら守り、いろいろなお役を引き受けました。

私がガバナーの時には大阪での国際大会、RIの大会委員長に千玄室さん、ホスト実行委員長が近藤先生。そのおかげで、ロータリアンでなければ決して出会うことがない多くの人と出会えました。そのお一人が千玄室大宗匠です。千さんが新聞に書かれていた随筆について直接いろいろお尋ねできたのも、ロータリアンだったからです。

この体験を振り返れば、「ロータリーにはNOはない」という真の意味は、「ロータリー人生を楽しむためには、NOという選択肢はありませんよ」ではないかと思います。

ロータリーは夫婦同伴です。RI会長を5度務めさせていただき、また多くの国際大会にも参加いたしました。

妻ががんの宣告を受け、「もう一度タイに行ってビチャイさんに会いたい」と言いました。最後のタイ訪問を無事終えて治療生活となりましたが、妻の最後の言葉が「ロータリーに入会してくれてありがとう。おかげで私も楽しい人生になったと思っております。」でした。

お陰で私も楽しい人生になったと思っております。

